

# **まちづくり協議会からの提言**

**平成29年7月**

**西目まちづくり協議会**

## はじめに

西目地域まちづくり協議会は、由利本荘市まちづくり協議会条例により、「市民と行政との協働によるまちづくりを推進し、地域の課題解決及び活性化を図るため設置する。」とされています。

本協議会においては、地域の現状と課題を認識しこの地域がその特性を生かし今後どのように発展していくべきか議論するため、協議会の中に「福祉部会」「教育部会」「建設産業部会」の3つの部会を設け、それぞれの分野についてテーマを設定し、議論いたしました。

本書は、委員各位から出された市に対しての要望や意見を提言書としてまとめたものです。今後、西目地域からの提言書が市総合計画とリンクし様々な施策と結びつき行われることで活力あるまちづくりができていくものと考えます。

この提言書が、市民と協働で行うまちづくりの一端を担うことを願います。

西目まちづくり協議会

会長 鷹島 恵一

## 「誰もが生涯・安心・安全に暮らしやすいまちづくり」

現代社会は人口の減少、少子高齢化社会という人口構造の変化による誰もが経験したことのない社会へと突き進んでいる。

近年は、未曾有の大災害である東日本大震災をはじめとして、各地で大きな震災や温暖化が原因と思われる風水害等が多発しており、自然環境も急激に変化してきている。

我がまちにおいても、急激に加速する人口減少と少子高齢化は避けられず、これまでのコミュニティや集落機能等の維持が困難になると危惧している。また、多発傾向にある災害に備え、災害時に一人で行動できない高齢の方や障害のある方などの災害要配慮者への円滑かつ迅速な避難を確保するための支援が望まれる。

そんな中、将来にわたり『誰もが生涯・安心・安全に暮らしやすいまちづくり』に行政と地域が一体となり取り組む必要があると考える。

西目の将来に向けたよりよいまちづくりとして、福祉部会は以下の内容について提言する。

### 【現状と課題】

- ・公共交通機関の路線の統合、廃止等により利便性が劣化している。特に自家用車の利用が出来ない高齢の方や障害のある方など、公共施設や店舗などへの利用がしにくくなり生活が不便である。
- ・災害時の高齢者や障害者、小さい子どもがいる家庭などの災害要配慮者への対策は大変重要な課題であるが、個人情報保護に配慮しながらも個人の情報を把握し一律な対応が出来るようにしなければならない。

### 【提言内容】

- ・自主運行バス(コミュニティバス)の見直しや乗り合いタクシーなどを導入し、地域による利便性の差を軽減すると同時に新たな公共交通体系の構築を図る。
- ・災害時の避難困窮者に対し、個人情報保護に配慮しながらも一律な対応が出来るような、いざという時の地域ぐるみの助け合いの体制をつくる。  
また、高齢者生活支援システムとして、ふれあい安心電話や端末の設置等により、特に一人暮らしの高齢者の見守りの充実を図る。

## 「安心して子どもたちを育むまちづくり」

近年、少子高齢化、核家族化、地域社会とのつながりの希薄化などにより、子どもたちを取り巻く環境は急速に変化している。健全な子どもの育成に当たっては、家庭や施設だけでは解決できない問題も多く、社会や地域全体で子育てを支援していく環境が必要となっている。西目地域でも継続的な課題となっている子育て支援について、地域課題として提言する。

### 【現状と課題】

- ・西目地域の保育園と幼稚園は、就学前教育の充実に大きな成果を上げており、この環境のよさが西目地域の15歳以下人口の減少率の低さに表れていると考えられる。由利本荘市の課題である少子化対策としても、保育・教育環境の維持、充実は喫緊の課題である。
- ・西目保育園は駐車場が狭く、送迎時など大変危険であり、施設規模から2歳児までしか保育できない。
- ・西目幼稚園には給食設備がないため、小学校の給食センターからの配食による給食が幼児向けでないなど、食育環境が充足されていない。
- ・両園を利用する保護者にとって、施設が離れた2園に分かれているため、送迎や行事に対する負担が他地域よりも大きく、災害時などの対応が非常に難しいと考えられる。

### 【提言内容】

- ・安心して子どもを産むことができ、保育園・幼稚園に子どもを入園させることによって安心して働くことができる環境を目指す。
- ・保育園・幼稚園に子どもを入園させることによって、子どもたちの保育・教育の充実が図られ、子どもたちの健全な成長が保障される環境を目指す。
- ・地域の課題に対応し、保育園・幼稚園が互いに連携して充実した保育・教育の環境づくりを進めるために、保育園・幼稚園が一体となった施設を早急に整備する必要がある。
- ・地域の多様な要望や必要性に応える子育て支援策や保育サービスを実施できるよう、関係職員の雇用条件の充実を図る必要がある。
- ・これまで充実を図ってきた幼稚園、小学校の連携教育の継続のために、幼保一体化新施設は小学校の近くに建設することが望ましい。

### 【行政に期待すること】

- ・平成29年度より由利本荘市内の市立保育園が社会福祉法人による運営に移行しているが、西目幼稚園を西目保育園と共に幼保連携型の認定こども園へと再編して、西目幼稚園も社会福祉法人の運営にスムーズに移行するように働きかけることを望む。
- ・子育て支援の拠点となる幼保一体化新施設を早期に建設・整備するように働きかけることを期待する。

### 【地域でできること】

- ・地域で子育てについて話し合うことができるコミュニケーション環境の場を提供していきたい。
- ・当協議会(西目まちづくり協議会)では、将来提言に沿った施設が実現後もその運営について見守り、支援等を進めていく。

## 「自然豊かな資源を生かしたまちづくり」

西目地域は、「山」、「海」など魅力ある様々な観光資源を有しており、市外から人を呼ぶことができる要素を多く持った地域と考えられる。

今後、よりいっそう観光振興を進めていくためには、観光客のニーズを的確に捉え、地域の観光資源を一元化し、有効な観光情報の提供に向けた体制の確立を目指し、以下のとおり提言する。

### 【現状と課題】

- ・西目地域には山と海に囲まれた豊かな自然がある。しかしながら多くの観光資源を十分に生かし切れていないと思われる。また、観光目的の多様化に対応する取り組み（地域資源と物産）が物足りない。
- ・近年高規格道路の整備により、本地域に立ち寄らず通過する観光客が増えており本地域への客足を遠ざけている。また、当然観光客リピーターも当地を訪れない現状がある。
- ・浜館公園の整備が十分でないため、本地域屈指の眺望を誇る公園の魅力が生かしきれていない。

### 【提言内容】

- ・自然豊かな西目の観光地を見て頂くため、日本海沿岸道路の西目パーキングから本地域に入れるようにし、「浜館公園」・「風力発電風車」・「望海の丘」といった観光地（観光資源）を結んだ集客力のある観光ルートを開発・道路整備する取り組みが必要である。
- ・西目は農業と漁業のまちでもあるので、地元の野菜・果樹や海産物について販路を見直し、パーキングエリアに由利本荘市の物産施設としての販売所を設け活性化を図る。
- ・「食」観光の推進のため、地域の生産者・物産生産業者とのネットワーク構築を図る。
- ・観光行事や名所など魅力ある観光マップ（名所・食事処・物産品）等の広報用のリーフレット等を作成し広く配布する。
- ・「鳥海山・飛島ジオパーク」を広く発信することで、観光誘客につなげるとともに、市民の手で貴重な自然遺産を守り、次世代に伝えていくジオパーク活動を推進する。
- ・浜館公園北側の道路整備。
- ・公園斜面に桜以外の花木の植栽を行い、季節ごとに誘客を図る。

### 【行政に期待すること】

- ・日本海沿岸道路の西目パーキングエリアに西目への出入口を確保し、そこに物産施設を整備するよう関係機関への働きかけをお願いする。

### 【住民ができること】

- ・観光地の草刈りや植栽活動を展開する。併せて市民による観光ボランティアを行う。

(関係資料)

## 西目まちづくり協議会の活動状況について

- 第1回 平成28年1月22日(金)  
【内容】西目地域の活力あるまちづくりの方向性について提言テーマの確認
- 第2回 平成28年3月23日(水)  
【内容】提言書の概要理解とそれぞれの部会で目指す提言の絞り込み各部会での検討
- 第3回 平成28年 6月7日(火)  
【内容】教育・福祉・建設産業部会それぞれの内容にて検討
- 第4回 平成28年 9月1日(木)  
【内容】教育・福祉・建設産業部会それぞれの内容にて検討
- 第5回 平成28年10月25日(火)  
【内容】教育・福祉・建設産業部会それぞれの内容にて検討 分科会の提言内容の概要を検討
- 第6回 平成29年 3月16日(木)  
【内容】三部会の提言内容の詳細を検討
- 平成29年 7月7日(金)  
【内容】提言書の最終確認